

2. まずは全体の構想をたてよう

ポイント

1. 関心のある多くの人々と目的や環境意識を共有する
2. 実施方法や実施主体について考える
3. 余裕のあるスケジュールを組もう
4. コスト面のことも考えておこう

ポイント	該当ページ									
1 関心のある多くの人々と目的や環境意識を共有する	26	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 実施方法や主体について考える	27	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 余裕のあるスケジュールを組もう	28	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 コスト面のことも考えておこう	28	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1. 関心のある多くの人々と目的や環境意識を共有する



▽目的の共有は必須

スムーズなリユース食器導入を図るためには、多様な立場の人々と組織的に取り組むことが大切です。関心のある多くの人々と、「自分たちが開催するイベントからごみを減らしたい」という目的や環境意識を共有することが非常に大切です。

(目的共有のためのヒント)

- ・ どれくらいのごみがイベントで出ているかや使われている使い捨て容器の数・重量を調査し、リユース食器を用いることでどの程度削減できるかを具体的に把握してみる。
- ・ リユース食器を導入することにより削減できるコストを算出し、導入前との比較を行う。

■事例

・ 京都の私立大学の学園祭では、環境系のサークルが主体となりリユース食器の取り組みが行われた。ただし、主催者本体の意識が低く、環境系サークルの負担が増し、活動として継続しなかった。地元のおまつり等の時にも言えることだが、自分たちのイベントでリユースを行うという主催者の理解が欠かせない。

2. 実施方法や主体について考える

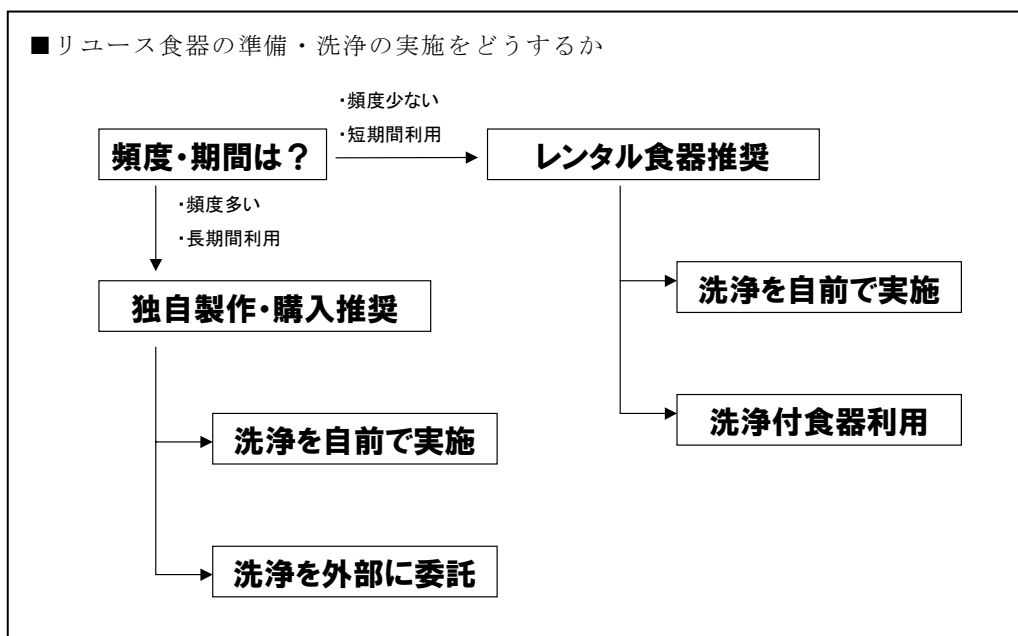


▽食器の準備・洗浄の実施をどうするか

イベントの頻度や期間に応じて、リユース食器をレンタルした方がいいのか自前で製作・購入した方がいいのかが分かります。また、洗浄方法についても外部に委託するか自ら洗浄するかについての判断が必要です。

イベントの頻度が年に数回程度のものであったり、数日で終わるような短期間のものであったりする場合は、レンタル食器を利用すると良いでしょう。食器洗浄が不要なレンタルの制度（P.31 参照）もありますので、こうしたサービスを利用すると地域でのイベント等への利用が円滑に進みます。

反対に、開催頻度が多かったり期間が長かったりする場合には、リユース食器を独自に製作・購入し、自ら洗浄や保管等の管理にあたるという方法もあります。



▽外部に頼むか自ら行うか

イベントの大きさや規模によって、リユース食器の運用を自ら行ったり外部の力を借りたりする選択肢があります。

■地域イベントや会議等

リユース食器のレンタル事業をしている団体からコーディネーターを派遣してもらい、助言を受けながら行う形のところもあります。また、使用前・使用後の洗浄が不要な食器をレンタルし、イベント企画者のみでリユース食器を運営する例もあります（レンタル食器については P31 参照）。

■ライブハウス・クラブ・遊園地・映画館・ビアガーデン・自動販売機等

ライブハウス・クラブでは、リユース食器関連団体からカップを購入し、その後は自ら洗浄や管理を行うところがあります。なお、こうした場合でも購入時には使い方

や顧客へのPR方法等のアドバイスを受けます。映画館ではレンタルカップやタンブラーを利用する事例があります。

■ サッカースタジアム・音楽イベント等

ある音楽イベントでは、リユース食器のレンタル事業をしている団体に洗浄を含めた運営が委託されています。サッカーイベントでは、洗浄を給食業者やリユース食器洗浄工場に委託しています。

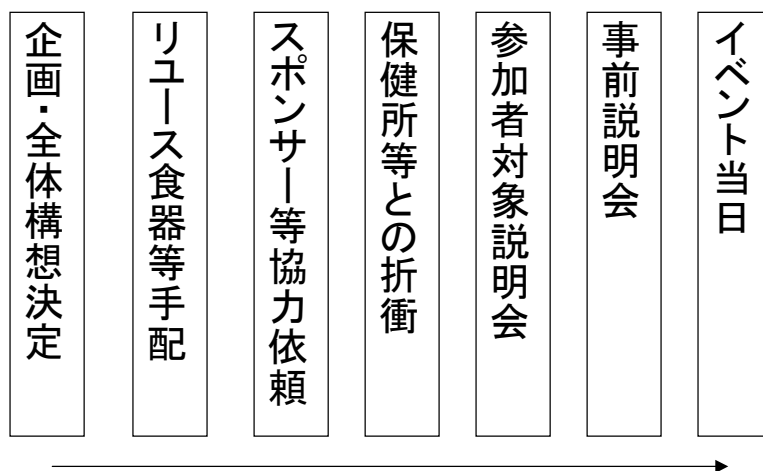
3. 余裕のあるスケジュールを組もう



▽ 準備のためのスケジュール組み

リユース食器を導入するには計画から実施までの時間が必要です。また、関係者との調整や人の手配、コップや食器の作成が必要な場合があります。レンタルする場合は、夏から秋にかけてはかなり先まで予約で一杯ということもあります。

■ フローの例（イベント内容や条件により異なりますので目安としてください）



4. コスト面のことも考えておこう



▽ リユース食器導入に伴って発生する費用

リユース食器については、導入や洗浄などにコストが発生します。ここでは概要を述べますので、詳しくは57ページを参考にしてください。

■ 地域イベント・会議等

自治体やNGOの中には無料でリユース食器を貸出したり、実費負担のみでイベント用の食器洗浄機（食器付であることが多い）を貸出したりするところがありますので、そうした所を利用すると費用が軽減できるでしょう（P50）。

また、イベント参加者に「マイ箸」や「マイ食器」の持参をお願いできれば、主催

者で食器をレンタルしたり洗浄したりする必要がなくなり、その分のコストを削減できます。

■ライブハウス・クラブ・遊園地・映画館・ビアガーデン・自動販売機等

リユース食器導入に関する費用の他、洗浄等の費用が必要な場合があります。

■サッカースタジアム・音楽イベント等

大分のサッカー場での実績（平成 14 年度）では、①カップ購入費②カップ洗浄費③カップ冷蔵保管費④備品（収納及び洗浄用ラック、コインカウンター、台車等）リース費⑤人件費⑥雑費（啓発掲示物、スタッフ交通費、消耗品等）で合計約 880 万円を要しました。また、横浜の日産スタジアムでは、リユースカップのシステムに 1 シーズン 1,200 万円程度の経費を要しています。

他の競技場に先行する形で大分や横浜のスタジアムではリユースカップの利用が始まりました。続く新潟やその他のスタジアムでは、より効率性の高い方法を採用し、費用を抑えようとしています。